

ギュっとラーニング 

～支援者向けオンデマンド研修教材～

※本研修教材の無断使用・転載・コピー・引用等は禁止します。

犯罪被害の関係者への支援

大阪大学大学院 人間科学研究科

野坂 祐子



本講義の内容

- 関係者への支援
- きょうだい児童への支援

関係者への支援

- 1 犯罪被害等によって影響を受ける人々
 - ・ 関係者：家族・親戚、目撃者、近隣者・地域住民 等
 - ・ 立場や状況によって、犯罪被害等による影響はさまざま
 - ・ 地域に、加害者側の関係者がいる場合もある
- 2 影響をもたらすもの
 - ・ 犯罪被害等のできごと
 - ・ マスメディア（メディアスクラム）、インターネットの情報
 - ・ 捜査や裁判等の動向
 - ・ 噂や風評 など

犯罪は、周囲や地域社会の安全を崩す

3

関係者への支援

- 3 関係者の心情
 - ・ 犯罪被害等のできごとによる恐怖、不安、動揺
 - ・ 犯罪被害者を「守れなかった」という自責感、後悔
 - ・ 家庭や地域での生活が変わったことへの負担、怒り、不満
 - ・ 噂やデマなどによる二次的被害（偏見、スティグマ、非難）
 - ・ 非日常的な状況に対する好奇心 など

↓

関係者が被害者や家族に支援的に関わるだけでなく、身近な立場にしながら否定的・批判的な態度をとることもある

関係者も動揺し、冷静な対応がとれなくなる

4

関係者への支援

4 関係者に対してできること

- ・ 情報提供：関係者の心身の影響について、心理教育をする
例) 「周囲の人も、眠れなくなったり、不調をきたしたりすることがあります」
「被害者にどう接してよいかわからなくなるものです」
- ・ 具体的な生活支援：生活上のさまざまなニーズに応える
- ・ 相談先の紹介：関係者に相談窓口や社会資源を伝える など

関係者にも、さまざまな支援が必要

5

きょうだい児童への支援

1 きょうだい児童への影響

被害少年のきょうだいの心情や状況

- ・ 身近で犯罪が起きたことへの衝撃、恐怖、不安、怒り
- ・ 被害少年の心身の状態に対する心配、戸惑い、無力感
- ・ 家族や周囲の多忙さや疲弊への気遣い、罪悪感
- ・ 生活の変化等によって強いられる負担への我慢、孤立
- ・ 周囲からのプレッシャー等の二次的被害

例) 「親を助けてあげないと」
「こんなときに何を言っているんだ」

きょうだいの傷つきは、見過ごされやすい

6

きょうだい児童への支援

2 きょうだい児童の行動面のサイン

- ・親や周囲を気遣い、「良い子」でいる
- ・困りごとを言わない、弱音をはかない、「大丈夫なふり」
- ・無口、登校しぶり（不登校）、引きこもり
- ・食欲低下・過食、不眠、ゲーム等への没頭（依存）
- ・体調不良（頭痛・腹痛 など）
- ・退行（分離不安、甘え、夜尿、指しゃぶり・爪噛み など）

身体面・行動面に表れやすい

生活の様子や行動面の変化をサインと捉える

7

きょうだい児童への支援

3 家庭でのサポート

- ・保護者もサポートを受けて、きょうだい児童にも気を配る
- ・きょうだい児童の話を聴き、一緒に過ごす時間を増やす

同じ家族でも、それぞれ異なる思いがあり、
犯罪被害への向き合い方もさまざま

4 学校や地域でのサポート

- ・学校での支援を依頼する（スクールカウンセラー）
- ・地域での居場所や社会資源につなぐ

被害者支援センターへの相談も活用できる

8

ご視聴ありがとうございました。

